

事業番号	事務事業名	特殊詐欺等防止機器購入補助金	所管課名	くらし安全課	令和 3 年度課長名	小原 克則
00612	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	生活安全係	担当者・シート作成者	可児 勉
	施策名	42 交通安全・生活安全対策の推進	根拠法令等	鏡野町特殊詐欺等防止機能付き電話購入補助金事業		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事務事業の内容) 町内の高齢者(65歳以上)が居住する世帯に対し、防犯機能付き電話機の購入に係る費用について補助金を交付する。 (業務の内容) 申請者より防犯機能付き電話機の購入についての補助金交付申請を受け、補助金を交付する。(機器購入の3分の2、上限10,000円)	近年、高齢者を狙った特殊詐欺被害が増加しており、手口として電話によるアポ取りが主流であるため、防犯機能付き電話の普及を促すため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 補助対象者	ア 65歳以上の町民	人	見込 実績		4,694 4,757	4,788 4,726	4,720	4,651
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 特殊詐欺等防止機能付き電話を設置することにより、犯罪件数を減少させる	ア 犯罪件数	件	目標 実績 達成率		40 19 47.5%	27 18 66.7%	24	24 75.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 補助金交付	ア 補助件数	件	目標 実績 達成率		20 20 100.0%	20 11 55.0%	20	20 55.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 11		大事業 05 中事業 01					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		防犯対策費		特殊詐欺等防止機器購入補助金					
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	00612
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源		200	200	200	200		一般財源		193	102	200	200	-91	
合計		200	200	200	200		合計(A)		193	102	200	200	-91	
財源名称	従事正職員人数								1	1	1	1		
	延べ業務事務時間								50	25	50	50	-25	
	人件費計(千円)(B)								167	84	171	171	-83	
	最終予算額		200 千円		予算執行率		51.0%	トータルコスト(A+B)		360	186	371	371	-174
主な 支出事業内容 (予算)	補助金						200 千円							
	主な 支出事業内容 (決算)						補助金						102 千円	

事業番号	00612	事務事業名	特殊詐欺等防止機器購入補助金	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	----------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
県内の特殊詐欺被害は平成27年をピークに減少傾向にあるが、被害に気づかない又は被害を申告できないなど手口が巧妙化している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和2年に事業創設、その後も継続している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
設置者からは、安心が得られたなど、事業に対して好評である。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 特殊詐欺被害防止機能付き電話の設置により、犯罪の減少及び町民の安心につながる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 高齢者の安全・安心及び被害防止のため妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 高齢者が被害に遭いやすいことから対象等は適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 防犯機能付き電話機の普及が目的のため水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 高齢者の安全・安心及び被害防止のため妥当である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 補助の交付事務なので改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 毎年多数の申請があるので、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 必要最低限の人員で事務をしており削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 一律の額に設定しており公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	高齢者及びその家族に対しても安心が得られ、特殊詐欺被害を未然に防ぐ手立てである。機能の選定も一般的な機能としているため、申請者の負担は軽減できた。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
特になし。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

